



夏季休暇期間中におけるアフリカ豚熱、 口蹄疫、豚熱等の防疫対策の徹底について

昨今、世界各国で新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向にあるなか、本年6月から入国制限の緩和がなされ、それに伴い外国人入国者数の増加が見込まれています。

そのため、**アフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱等**の発生地域からの人・モノの移動が増加することが予想され、国内への侵入リスクが極めて高い状況になると考えられます。

畜産関係者の皆様には、次の4点について再度確認をお願いします。

- 1 **海外渡航の自粛**
- 2 **手指の消毒や専用長靴の着用**など、衛生管理区域への**病原体の持ち込み防止対策**
- 3 適切な**防護柵や防鳥ネット**等の**設置及び点検**などの**野生動物の侵入防止対策**
- 4 家畜の**健康観察**及びアフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱の**特定症状の早期発見・早期通報**の徹底

アフリカ豚熱、口蹄疫、豚熱の特定症状を呈している家畜を発見した場合は、速やかに青森家畜保健衛生所に連絡を！

電話 017-764-1744

休日・夜間 090-2274-0474

アフリカ豚熱・豚熱の特定症状

耳翼・下腹部・四肢の紫斑、または同一畜房（畜舎）内において一定期間（1週間程度）に複数の豚等が突然死亡する、または以下の症状を呈する豚等が増加している。

- ・ 40℃以上の発熱、元気消失、食欲減退
- ・ ひね豚
- ・ 便秘、下痢
- ・ 流死産等の異常産の発生
- ・ 結膜炎（目やに）
- ・ 皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便
- ・ 歩行困難、後躯麻痺、けいれん

アフリカ豚熱

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。

甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、皮下出血、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



チアノーゼ

写真出典：動衛研

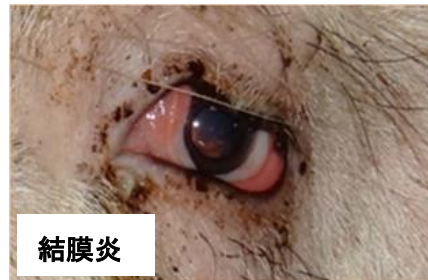


肛門からの出血

豚熱

特徴的な症状が無く気がつきにくい疾病。異常（発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸器障害等）を発見したら直ちに通報しましょう。

重症例は神経症状（後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙攣）、皮下出血による紫斑（耳翼・尾・腹部・内股部）を呈し死亡する。



結膜炎

写真出典：岐阜県



元気消失

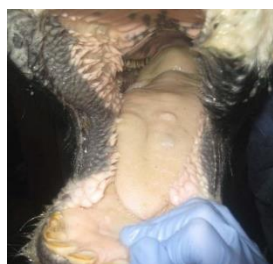
口蹄疫の特定症状

- ・ 39度以上の発熱を示した家畜が、泡沫性流涎、跛行、起立不能、泌乳量の低下・停止のいずれかを呈し、かつ口腔・舌・鼻・蹄・乳房や乳頭に水疱、びらん、潰瘍、痂痕がある
- ・ 同一畜房内において複数の家畜の口腔内等に水疱等がある
- ・ 同一畜房内において半数以上の哺乳畜が2日間において死亡する

写真出典：宮崎県



泡沫性流涎



舌の水疱



蹄球部皮膚の潰瘍



乳房・乳頭の水疱、びらん